

いつもありがとうございます。きしゅう会計の名倉です。毎年この時期には玄関先につばめがやってきて夏の始まりを感じさせてくれます。「去年来てた本人、もしくはその子どもが戻ってきたのかな」といつも疑問に思うので、ネットで検索。



近くには戻って来ても同じ巣に戻ってことはまあないとのこと、、、何でも簡単に調べられる便利な時代です。さて、先月号は岡山から四国一周の寄り道のお話でしたが、今月号もその続きからです。高知からの帰路、徳島から和歌山行きのフェリーに乗りました。そして自宅にそのまま帰らず、和歌山市内で仁坂和歌山県知事との懇親会に参加です。所属させてもらっている異業種交流会の会合に、ここ数年1年に1度ご参加頂いています。まあ、聡明な方です。県政、国政、どんな質問にも明快な回答を淀みなく答えてくれます。「名倉君も質問しなよ」と前もって振って頂いていたので、教育問題について質問させて頂きました。「長期にみて国力の根源は学校教育にあると思うのですが、知事が考える教育現場における現状の問題点と今後の展望を教えてください」と。するとなんとなく待ってましたと言わないばかりの様子で次のように回答頂きました。



「今、モラルの低下が根本的な問題です。その改善が急務。そこで、県独自で道徳の教科書を作成し、今年から県下全ての小中学校でそのテキストを用いた道徳教育に力を入れるようにします」とのこと。

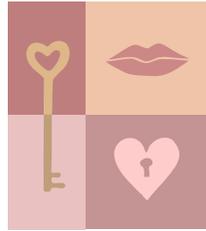


「県独自のテキスト？」全然知らなかったの、自宅に戻ってこれもネットで検索。ありました。ありました。以下日高新聞のHPからの引用です。

『県教委が独自の道徳教育資料集作成』

(2014年2月19日)

県教育委員会は子どもたちの思いやり、郷土愛などの道徳心を育むため、県ゆかりの偉人や出来事、いじめ、ネット問題等をテーマとした読み物資料集を作成した。小学生は「心のとびら」、中学生は「希望へのかけはし」というタイトルで、日高地方にも関係のあるクヌッセン機関長やフレッド・和田勇も登場。教諭向けの指導マニュアルも作り、来年度から各学校で本格的に活用される。小学校は4・5・6年生を対象に、国内外の偉人や出来事に関する15話を収録。和歌山県関係は紀の川市出身の画家保田龍門、海南市出身の江戸時代の治水家井澤弥惣兵衛ら6人の人物と紀州漆器に関する物語の7話、日高地方関係ではクヌッセン機関長の話が掲載されている。クヌッセン機関長の話は、総合的な学習の中で日本とつながりのある外国を調べた小学生が、2002年の日韓ワールドカップサッカーで和歌山県の人たちがデンマークチームを応援したことを不思議に思い、昭和32年2月に



日の御埼沖で起きたクヌッセン機関長の殉難がきっかけだったことを知る。中学生用も全15話のうち、和歌山県にゆかりのある人物等の話は6話。日高地方関係では、昭和の東京五輪誘致に貢献した御坊市ゆかりの故フレッド・和田勇の物語があり、「祖国日本の人々に勇気と自信を」と、昨年、



100歳で亡くなった妻の正子さんとともに招致活動で中南米各国を回ったことなどが紹介されている。

仁坂吉伸知事は「なかなかいい県独自の道徳教科書ができた。これをもとに、先生が熱心に指導することで、子どもたちはいじめなどにブレーキをかける心が育つのでは」と話している。

懇親会で知事が仰ってはったのですが、一般の方からもほしいとのご要望が出てきているそうで、近いうちにネットで公開することを検討しているとのことでした。そこでまたもや検索！



ありました。ありました(今月号はこればかりだね (^_^))

どちらも全編PDFでダウンロードできるようです。関心のあられる方は、

「和歌山県 心のとびら」「和歌山県 希望へのかけはし」で検索してみてくださいね。僕も読んで和歌山に詳しくなります。御坊に来て、今年で21年目。気分はすっかり和歌山県人です(^_^) さて、これで4月の岡山・四国出張(寄り道？旅行？)編は全て終了です。

そして遅ればせながら5月突入。実は先日人生初のトレイルランに参加してきました。「トレイルラン？」あまり聞きなれない言葉だと思いますが、簡単にいうと「登山マラソン」です。参加したのは「十津川トレイルラン」今回が初めての大会で、600m級、800m級、1100m級の3つの



山を登り降り駆け抜ける総標高差 2500m、距離 35kmというかなりハードな内容でした。実はネットでポチリと申し込んだ時には、トレイルランというものが何か分かってなかったんです。〇熊野のフルマラソン途中リタイアのリベンジをしようとネットでレースを物色していたところ見つけたのがこの大会。「35キロ？ちょうどええやん！」



ってな具合に安直に申込を済ませ、その後トレイルランの内容を調べて、「やばい！」と思っても、もう後の祭り(´_`)「ええい！申し込んだからには逃げたらあかん(´_`)」とそこから「完走できるだけの身体作ったる！」と、食事制限しながらの猛烈な走りこみ！1ヶ月間毎日 1000kcal 前後の食事と、月間 300 キロのジョギングを敢行！この突貫工事のお蔭で、レースまでに8キロくらいは絞れましたp(^0^)



ところが、、、「山の中を走るなんて初めてやから遭難したらまずい！」と参加した前日の説明会と懇親会。いかにもアスリートなお兄さんたちに囲まれ、なにやらその猛者たちから珍獣を見るような視線を感じていたところ、「トレイルラン走ったことあるんですか？」との質問。「いえ、今回は初めてです」との返答に「チャレンジャーなやなあ たぶんびっくりすると思うで」との言葉。また違う猛者からは「フルマラソンは走ったことあるん？」と聞かれ、「はい。あります。」と即答。すると「どのくらいで走れるん？」との追加質問。この雰囲気「フルは1回だけで23キロ」

タイヤです」と正直者にどうしてもなれず、閻魔様に舌を抜かれる覚悟で「(・_・;)えっと、4、5時間くらいかなあ」と、やってないのに親から「宿題はやったのか？」と聞かれて「や、やったよ」と応える子どものような仕草にも拘らず、その猛者は「ん、4、5時間？それなら、たぶん完走できるんちゃうかなあ」と紳士に伝えてくれました。

ただ、こちらの背伸びの回答でも完走は微妙では？というこのレース。にわか仕込みで8キロ落としたくらいじゃ、まだまだぼっちゃり顔、ぱっちゃり体型の僕では、周りを不安にさせる、おのぼりなんちゃってランナーのようでした(・_・;)

そんなこんなで不安もありーで迎えたレース当日。「300キロ走ってきたんだ！8キロ体重落としたんだ！大丈夫だ！トレランを楽しもう！」との意



気込みでスタートラインへ。一人しか通れない狭い山道を通る箇所が多いためか、混乱のないようにウェーブスタート。また、国道についてはフルマラソンとは違い、交通規制をしていないので、ウォーキング制限になっているなど、のんびり系ルールもあるけど、山の中に入ると、鹿かサスケくらいしか走れんような急勾配もありの、滑落すれば50mは落ちるであろう細道ありーの、メリハリの利いたとても面白いものでした。そして3つの山を抜けたところで出てきたラスト前のこの風景。熊野古道です。石畳に隣接する水田。あまりに美しい。そしてなんとかゴールインp(^^)q。タイムは9時間40分26秒と、当初の時間制限の9時間を才



バーしてしまいましたが、運営の方の配慮で時間延長して頂いたようで、このタイムでも完走証を頂きました。ありがたいことです。

あ、ちなみに僕の後ろにもあと何人かはおられたようです。160人参加で完走140人のこのレース。トレランの中でもなかなか厳しい内容だったようです。3つの山の上下り、尾根伝いに走る林道。森の中の木陰を走り、涼しいんだなこれが(^^)山の綺麗な空気で浄化される胸、鼓動、気持ち。時間の感覚を忘れて、一身にゴールを目指す脚、身体、意志。そうやってたどり着いたゴールの達成感は半端なく感動的。9時間なんてあつという間でした(^^)。どれもこれも新鮮な体験で清々しかったですよ。ハーフやフルのシティマラソンもいいけど、トレランにはトレランの良さがありますね。説明会でシティマラソンをやってきた人がトレランを走ると、はまってしまう人がとても多いと聞きましたが、僕もご他聞に漏れずその一人となりました。来月7月7日の「世界ジオパークトレイルラン2014in山陰海岸」に既にエントリー済みです。兵庫県神鍋高原にいきます。ご興味を持たれた方、ご一緒しませんか？トレイルラン面白いですよ。さて、あと1ヶ月あるので、もう5キロ程絞る予定です。そして、今度は、ちゃんと制限時間内の完走を目指します！そうそう、今回のダイエットで実は2ヶ月以内で10キロ以上ってのがこれで5回目(ということは4回戻しているんだけど、細かい突っ込みはなしでお願いします 笑) 毎回、動機や方法は

異なるのですが、この実績から言うと、名倉は短期間ダイエットの分野では、実はそれなりに権威なのです(戻すのも権威と言えるかも、(^^)笑)。そこで、来月号のよもやまかわら版では、名倉式短期間ダイエットのスーパーメソッドを惜しむことなく公開します(笑)。



そう来月号はダイエット特集です。乞うご期待！さて、寄り道に山歩きにと遊んでばかりと誤解されても困りますので、少し仕事の話をして(^^)。先日6月3日に御坊南ロータリークラブで卓話をさせて頂きました。演題は「残される家族に安心を！～相続を考えるための初めの一歩～」です。そう、27年から大きく改正となる相続税に関するお話です。改正内容を簡単に説明すると、従来相続税の納付が必要となる相続案件は100件に4件程度と言われていたものが、27年以降はこれが倍以上になるようです。それは従来の基礎控除の金額(5000万円+1000万円×法定相続人の数 例えば法定相続人が3人ならば相続財産が8000万円までなら相続税は掛らない)が60%まで引き下げられるからです。(基礎控除の金額が3000万円+600万円×法定相続人の数になる)それで、今まで相続税とは無縁だった方でも、今回の改正により税金のことの心配もしなければならぬかも知れませんが、講義ではそれよりも大切なことがあるとお伝えしました。相続で一番大事なのは節税ではなく、「残される家族が安心できるようにすること」です。統計的にも出ていることですが、遺産分割協議がまとまらない所謂「争族」といわれる状態で、調停や裁判になるケースの30%は相続税が掛らない、それほど多額の遺産争いではないケースだそうです。つまり、



「相続」が「争族」になってしまうケースというのは、相続財産の大小に拘らず発生してしまうのです。また「うちは何も財産ないから大丈夫」という人もありますが、財産がなくても、残される家族の中に、「悪い関係になる要素」を残すことも、負の財産を相続させることだと言えるのではないのでしょうか。要するに相続を考えなければならぬのは、相続税の掛る方ばかりではないのです。でも中々そのための行動(相続対策)を取る人は少ないものです。それはその対策が「死」を前提とする行動だからなのでしょう。親が自分の死を考えて行動しないと、子どもが親の死を考えて行動するのは不謹慎なようで言い出せないものです。また、「うちの家族に限って争族なんてありえない」と考えられる方も多いのですが、自分がいなくなった後は、「同じ家族でもパワーバランスが崩れた違う世界」かも知れません。揉める可能性があることは自分の生前に出来るだけ手当てをしておくべきです。それが自分の最後の役目だと思います。相続税の節税もその生前できる手当てのうちの一つにしか過ぎません。30分という短い時間でしたので、卓話の際には、今ここに書かせて頂いた心構えくらいしかお話できませんでした。そこで、思いついたのですが、毎年お盆前に相続税のセミナーを開催しようと。2時間くらいあればそれなりの内容をお話できますので、知識をつけて頂いてお盆の家族会議に繋げて頂ければと思います。日時などの詳細については来月号の事務所通信に案内を載せる予定です。相続に関して気になる方は是非お越しください。

異なるのですが、この実績から言うと、名倉は短期間ダイエットの分野では、実はそれなりに権威なのです(戻すのも権威と言えるかも、(^^)笑)。そこで、来月号のよもやまかわら版では、名倉式短期間ダイエットのスーパーメソッドを惜しむことなく公開します(笑)。

そう来月号はダイエット特集です。乞うご期待！

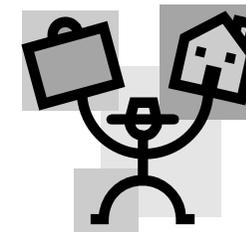
さて、寄り道に山歩きにと遊んでばかりと誤解されても困りますので、少し仕事の話をして(^^)。

先日6月3日に御坊南ロータリークラブで卓話をさせて頂きました。演題は「残される家族に安心を！～相続を考えるための初めの一歩～」



です。そう、27年から大きく改正となる相続税に関するお話です。改正内容を簡単に説明すると、従来相続税の納付が必要となる相続案件は100件に4件程度と言われていたものが、27年以降はこれが倍以上になるようです。それは従来の基礎控除の金額(5000万円+1000万円×法定相続人の数 例えば法定相続人が3人ならば相続財産が8000万円までなら相続税は掛らない)が60%まで引き下げられるからです。(基礎控除の金額が3000万円+600万円×法定相続人の数になる)それで、今まで相続税とは無縁だった方でも、今回の改正により税金のことの心配もしなければならぬかも知れませんが、講義ではそれよりも大切なことがあるとお伝えしました。相続で一番大事なのは節税ではなく、「残される家族が安心できるようにすること」です。統計的にも出ていることですが、遺産分割協議がまとまらない所謂「争族」といわれる状態で、調停や裁判になるケースの30%は相続税が掛らない、それほど多額の遺産争いではないケースだそうです。つまり、

異なるのですが、この実績から言うと、名倉は短期間ダイエットの分野では、実はそれなりに権威なのです(戻すのも権威と言えるかも、(^^)笑)。そこで、来月号のよもやまかわら版では、名倉式短期間ダイエットのスーパーメソッドを惜しむことなく公開します(笑)。



「相続」が「争族」になってしまうケースというのは、相続財産の大小に拘らず発生してしまうのです。また「うちは何も財産ないから大丈夫」という人もありますが、財産がなくても、残される家族の中に、「悪い関係になる要素」を残すことも、負の財産を相続させることだと言えるのではないのでしょうか。要するに相続を考えなければならぬのは、相続税の掛る方ばかりではないのです。でも中々そのための行動(相続対策)を取る人は少ないものです。それはその対策が「死」を前提とする行動だからなのでしょう。親が自分の死を考えて行動しないと、子どもが親の死を考えて行動するのは不謹慎なようで言い出せないものです。また、「うちの家族に限って争族なんてありえない」と考えられる方も多いのですが、自分がいなくなった後は、「同じ家族でもパワーバランスが崩れた違う世界」かも知れません。揉める可能性があることは自分の生前に出来るだけ手当てをしておくべきです。それが自分の最後の役目だと思います。相続税の節税もその生前できる手当てのうちの一つにしか過ぎません。30分という短い時間でしたので、卓話の際には、今ここに書かせて頂いた心構えくらいしかお話できませんでした。そこで、思いついたのですが、毎年お盆前に相続税のセミナーを開催しようと。2時間くらいあればそれなりの内容をお話できますので、知識をつけて頂いてお盆の家族会議に繋げて頂ければと思います。日時などの詳細については来月号の事務所通信に案内を載せる予定です。相続に関して気になる方は是非お越しください。

また、「うちの家族に限って争族なんてありえない」と考えられる方も多いのですが、自分がいなくなった後は、「同じ家族でもパワーバランスが崩れた違う世界」かも知れません。

揉める可能性があることは自分の生前に出来るだけ手当てをしておくべきです。それが自分の最後の役目だと思います。相続税の節税もその生前できる手当てのうちの一つにしか過ぎません。30分という短い時間でしたので、卓話の際には、今ここに書かせて

頂いた心構えくらいしかお話できませんでした。そこで、思いついたのですが、毎年お盆前に相続税のセミナーを開催しようと。2時間くらいあればそれなりの内容をお話できますので、知識をつけて頂いてお盆の家族会議に繋げて頂ければと思います。日時などの詳細については来月号の事務所通信に案内を載せる予定です。相続に関して気になる方は是非お越しください。

